

東京ジャーナル
NO.98

同志社

同志社
東京校友会

DOSHISHA
TOKYO JOURNAL
2015.JAN NO.98

【今号の記事】

- ・新年ご挨拶
- ・支部会活動報告
- ・校友会大懇親会報告
- ・ホームカミングデイ
- ・特別協力会員の集い
- ・校友訪問(ADK植野伸一氏)
- ・連載/片桐家同志社五代記(十二)
- ・連載コラム/今出川四季
- ・新島研究会
- ・年次会活動報告
- ・同志社スポーツ
- ・副学長渡辺好章氏インタビュー
- ・2015年春の集い告知
- ・行事告知

写真:同志社礼拝堂(チャペル) 同志社大学提供

2015新年に 新たな光を おめでて

新年ご挨拶 会長児玉正之

校友の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年は、イスラム国をはじめ世界で紛争が勃発、国内は2月に関東地区が大雪に見舞われ甚大な被害が発生、四月には消費税増税、その年を表す漢字はやはり「税」でした。

また災害も多く、とりわけ御嶽山の噴火事故は衝撃を受けました。

師走の選挙は最低の投票率。「一国の良心」はどこに行ってしまったのでしょうか。新島襄「脱国百五十周年」「帰国百四十周年」の式典、初の校友会大懇親会、同志社大学

児玉正之会長

2015年のご活躍とご健勝を祈念申しあげます。



写真:2014年11月26日に行われた新島襄横浜港帰国140周年記念行事

実行委員長 横山 徹

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましてはご家族とともに輝かしい新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年は全国各地で様々な災害が多く発生して、大変な一年でした。被災地・被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

今年は未年です。穏やかな一年になりますことを祈念しております。

実行委員一同、心よりお待ち申しあげております。

さて、東京校友会は今年も、46年卒を中心には56年卒・平成3年卒の合同メンバーが実行委員となり、5月24日(日)に第十七回『春の集い』を開催いたします。

今年のテーマは『同志社オンマイマインド』。

みんなと巡りあつた一つの建物や教室。皆さんの青春の思い出が詰まつた学舎に、この機会に感謝の気持ちを持って回帰します。



横山実行委員長

同志社パワーの結集へ 『2015年春の集い』

ゲストも同志社から大き

く飛翔されご活躍の方をお招きします。

毎年ご参加の方はもちろ

ん、初めて参加される方も一緒になつて、それぞれの人生の礎になつた4年間を語り合いませんか。そして、集い

来る友と『同志社』に思いを馳せる日にしませんか。それ

ぞれの年次会・ゼミ・サークル活動など、ご友人とお誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

今年は未年です。穏やかな一年になりますことを祈念

しておきます。

さて、東京校友会は今年も、46年卒を中心には56年卒・

平成3年卒の合同メンバーが実行委員となり、5月24日(日)に第十七回『春の集い』を開催いたします。

今年のテーマは『同志社オンマイマインド』。

みんなと巡りあつた一つの建物や教室。皆さんの青春の思い出が詰まつた学舎に、この機会に感謝の気持ちを持って回帰します。

首都圏での支部活動

樹徳会 東京支部

商学部樹徳会東京支部総会
懇親会が平成26年10月18日
(土)秋晴れの下ホテルグラン
ドパレスにて開催されました。
た。今年は、昨年より17名多い
122名が参考集しました。

樹徳会は商学部卒業生の校友会で大正時代からの歴史があり、東京支部は暫くの休会の後再開、今年で“再生”樹徳会3回目を迎えるました。

総会は日下部篤子幹事司会、白石正東京支部長の開催挨拶、植田宏文商学部長の祝辞、洪水啓次副支部長の新旧役員、幹事の選任動議提出・承認の後、第二部講演会では加藤千洋大学院教授「習近平オンライン体制の中国と日本」の演題で、講演をいたしました。

第三部懇親会は大谷實総長挨拶、坂光司樹徳会理事長挨拶に続き、岩倉の土地が、旧制同志社高等商業学校教員・生徒による募金運動で取得された事を報告。北濃登美男東京



ホテルグランドパレスの東京支部総会懇親会

第13回同経会「東京のつどい」開催
11月26日(水)18時30分より、日本プレスセンターで、第13回同経会「東京のつどい」を開催しました。

第一部の講演会では、最初に小嶋淳司同経会会长(昭37卒)の開会挨拶、続いて竹廣良司経済学部長(平1卒)の来賓挨拶があり、その後、同志社大学経済学部河島伸子教授に「日本の企業メセナ(芸術文化支援)――企業は文化の未来を担えるか」と題し、講演していただきました。

メセナという言葉は1990年に「企業メセナ協議会」が発足し、それ以来使われる言葉で、芸術文化支援を意味するフランス語です。一般的なメセナを巡る理解は、大

企業中心、目的は企業のイメージアップか、もしくは純粹な社会貢献、不況時にメセナは衰退する、欧米のメセナの方が進んでいる、などです。しかし、企業メセナは、

元応援団長平井千元幹事の下換、被災学生支援募金を挟み、同志社カレッジソングを全員で合唱。金屋憲二郎・樹徳会東京支部副支部長の閉会挨拶で散会しました。

文責／渡邊康嗣 (昭51年・商)



講演中の河島伸子教授

之東京校友会会长(昭45卒)の乾杯音頭の後、楽しく歓談し、21時前、カレッジソング、同志社チアードお開きとなりました。

文責／高橋健治 (昭44年・経)

IC・電子部品の調達から技術まで一括サポート致します!

明光電子一社で全ての部品がそろい、技術サポート、製造、検査までのプロセスを「早く」「広く」「深く」をキーワードに実践できる、電子の統合サービスが明光電子の強みです。

早いレスポンス - 「情報」と「モノ」を素早く正確に提供
広いネットワーク - 業界に広く通じているから何でも揃う
深いサポート - 確かな信頼があるからこそできる協力体制



明光電子 株式会社

神奈川県横浜市港北区新横浜3-18-9 新横浜ICビル
FAX:045-471-2377
E-mail:info@meicodenshi.com

045-471-2223

明光電子

検索

代表取締役 十川 正明
(昭和48年 機械工学科卒業 合氣道部)

▲千葉県支部 総会・懇親会報告

校友会千葉県支部の総会・芸術作品展に参加者をご案内しました。4時に大学校友課の田中課長から近況案内があり、続いて村田学長の特別講演です。学長のお話は、同志社は質を重視した教育に力を入れたいとのことでした。

講演会の後は、懇親会。司会

は桑田副支部長に代わり、木村校友会副会長のご挨拶、児玉東京校友会会長の乾杯のご発声で開宴しました。和やかなムードの中、旧交を温め合い、いつもながらもう少し時間があればと思いながら、最後にカレッジソングを齊唱して閉会しました。

幸男校友会常任理事の祝辞、荒井仁牧師の祈祷と続き、山下正人横浜市議会議員発声による乾杯で参加者は食事と飲み物を手に、各テーブルを囲み和やかな歓談へと移った。最後に葛西さんと全員で「赤とんぼ」の合唱、恒例のカレッジソング齊唱で楽しいひとときの幕を閉じた。

講演会では、「魂に汗をかけ」と題して、木村昌平副会長に、セコム入社のいきさつから、現在にいたるまでの貴重なお話をうかがうことができた。

この講演会については、総会出席者のみならず、地域住民の方々にも事前にご案内して、聴講していただいた。

講演会終了後、恒例の参加

校友会千葉県支部の26年度定時総会は10月4日、ホテル・プラザ菜の花にて開催されました。午後2時に大下牧師による祈りの後、総会が始まりました。議長は神内支部長が、議長の指名で佐々木理事が司会を務めました。支部長の挨拶のあと、議事に移り、今年度の事業報告、会計報告、来年度の事業計画・収支予算案について支部長・会計担当理事から報告・提案がありました。若手会員獲得のための具体策について質疑応答があり、全ての議案が承認されました。

総会終了後来賓の皆さまのご紹介、そして昨年始まつたご紹介、そして昨年始まつた



和気あいあいの総会会場

■神奈川県支部「同志社神奈川の集い2014」開催

10月24日横浜駅近くの陽軒本店において「同志社神奈川の集い2014」が開催され、約130名の校友が出席した。今回は支部長が交代し、大坂支部長が退任、竹

村慶三（昭45商）が就任した。講演終了後多くの質問があり非常に盛況であった。

次に会場を移して懇親会がスタートした。校友の葛西み

な子氏のソプラノ独唱、井上

幸男校友会常任理事の祝辞、

13時30分にスタートした総会では大坂神奈川支部長の挨拶を皮切りに事業報告が行われ、来賓を代表して大谷實同志社總長・中村友一校友会副会長が祝辞を述べられた。

続いて女性として全国初の公立中学校女性民間人校長に選ばれた平川理恵先生（平3文卒）による「教育理念は自立貢献—学習する学校をめざして」と題しての講演があつた。先生の掲げる「自立貢献」については一人ひとりがまず自立する。社会から、人から何かをしてもらうのを待つのではなく、自分が周りの人々に、あるいは社会に何を貢献できるかを常に考えて行動

■埼玉県支部 総会報告

総会は、日向野支部長の挨拶で始まり、水谷誠理事長の来賓挨拶、木村昌平校友会副会長の来賓祝辞、議事報告等終了後、保阪正康特別顧問の閉会の辞を経て講演会へ移った。

講演会では、「魂に汗をか

け」と題して、木村昌平副会長に、セコム入社のいきさつから、現在にいたるまでの貴重なお話をうかがうことができた。

この講演会については、総会出席者のみならず、地域住民の方々にも事前にご案内して、聴講していただいた。

講演会終了後、恒例の参加



初の公立中学校女性民間人校長・平川理恵先生



者全員の写真撮影を経て、懇親会終了後、恒例の参加

者全員の写真撮影を経て、懇

懇親会へと進んだ。



ラフレさいたまでの記念撮影

校友会副会長の乾杯で始まり、初参加会員の自己紹介、抽選会などを行い、終始和やかでアットホームな交流を深めることができた。

最後は、カレッジソング斉唱で締め、お開きとなつた。

来年は10月17日(土)を予定している。

文責／榎本誠一(昭50年・法)

11月23日(日)「ホテルテラスザガーデン水戸」で同志社校友会茨城県支部発足後2回目となる2014年度総会・懇親会が開催されました。

総会には、同志社大谷實総長、校友会木村昌平副会長など来賓、校友を合わせ34名が出席しました。

冒頭渡辺支部長、大谷総長の挨拶、次いで挨拶に立つた木村副会長は、今年2月に初めて全国の校友が一堂に会して京都国際会館で「大懇親会」を開催した経緯、校友大集結の想いと方策、今後はホームカミングデーに連動して開催することにしたことなどを話されました。

次に、中段事務局長の会計報告、役員改選では全員留任の上1名増員を決定しました。

第二部は「私と同志社」と題して大谷総長の特別講演。



ホテルテラスザガーデン水戸での記念撮影

40年・経
文責／横山豪(昭

■茨城県支部 総会報告

11月23日(日)「ホテルテラ

スザガーデン水戸」で同志社校友会茨城県支部発足後2回目となる2014年度総会・懇親会が開催されました。

大谷総長は茨城県の現在の筑西市のご出身で、高校生の折りは家庭事情もあって一時は大学進学を諦めたが、高校に同志社の応募（合格すれば学費免除）があり、担任の先生が創立者新島襄のことを見て良くなつておられ同志社進学を勧めてくださつたこと、大学では当時手薄な法学部の教授陣の中で憲法、刑法を学び、教授となつて以降、病気との闘い、若くして学長を努めたこと、京田辺キャンパスの移転に伴う学生への対応など様々な経験を話され、出席者一同耳を傾けました。

大谷総長、木村校友会副会長、田中校友・父母課長、土佐総長秘書、西村東京校友会副会長、竹村校友会神奈川県支

部長をご来賓として迎え、総勢36名（含女子大）で行われた。総会は田中副支部長の開会の辞で始まり、櫻井支部長の挨拶、来賓紹介に続き、大谷総長から「同志社大学の近況について」と題して講話をいただきました。14学部、2万8千人の学生を受け入れるハード面は確立したが、今後良心教育のソフト面へと変化させていく必要性と一層の国際化（Globalization）推進に力を入れていくとのことです。

文責／隅谷真一(昭46年・工)

■山梨県支部 総会・懇親会報告

12月6日(土)、第2回同志社

校友会山梨県支部総会・懇親会が甲府市内のホテル談露館において開催されました。

大谷総長は茨城県の現在の筑西市のご出身で、高校生の折りは家庭事情もあって一時は大学進学を諦めたが、高校に同志社の応募（合格すれば学費免除）があり、担任の先生が創立者新島襄のことを見て良くなつておられ同志社進学を勧めてくださつたこと、大学では当時手薄な法学部の教授陣の中で憲法、刑法を学び、教授となつて以降、病気との闘い、若くして学長を努めたこと、京田辺キャンパスの移転に伴う学生への対応など様々な経験を話され、出席者一同耳を傾けました。

大谷総長、木村校友会副会長、田中校友・父母課長、土佐総長秘書、西村東京校友会副会長、竹村校友会神奈川県支

部長をご来賓として迎え、総勢36名（含女子大）で行われた。総会は田中副支部長の開会の辞で始まり、櫻井支部長の挨拶、来賓紹介に続き、大谷総長から「同志社大学の近況について」と題して講話をいただきました。14学部、2万8千人の学生を受け入れるハード面は確立したが、今後良心教育のソフト面へと変化させていく必要性と一層の国際化（Globalization）推進に力を入れていくとのことです。

文責／隅谷真一(昭46年・工)

ソプラノ（近藤直子氏東京学芸大学大学院声楽卒）、ピアノ（堀女子大卒）、フルート（櫻井支部長）による素晴らしい

演奏で、特に声量豊かなソプラノに全員魅了された。また全員でクリスマスソング、同志社カレッジソングを合唱して、二部交流会へとつなげた。

木村校友会副会長の乾杯の音頭、新入会員の自己紹介のあと、花野理事の進行で同志社にちなんだクイズ形式のゲームで盛り上がり、田中校友・父母課長に締の言葉をいただきました。最後に記念撮影をおこない本会の今後の発展と会員相互の交流を誓い合い、散会となつた。



山梨県支部総会36名で記念写真



第2回 同志社校友会大懇親会は今回も大盛況。

集まろう！同志社卒業生たちよ！

第2回 同志社校友会大懇親会が開催されました。

谷総長のご祝辞のあと、第一部 時間を含め、大盛況であつた。
講演会が開催された。

講演会は作家百田尚樹氏の

同志社校友会主催の「第2回 同志社校友会大懇親会」が去る11月8日(土)に国立京都国際会館とグランドプリンスホテル京都で開催された。昨年2月

講演が行なわれた。ベストセラーとなつた著書「永遠のゼロ」「海賊とよばれた男」の執筆の背景の話を軸とした講演

だつた。太平洋戦争で戦い戦死した300万人の中心は、18歳から20代前半の大正生まれの人々だつた。また戦後、完全に廃墟と化した日本を復興させた中心もまた大正世代の人々だつた。この世代の人々の犠牲と努力の上に今日我々がいる。

三嶋亭のローストビーフ、竹茂樓の鰻寿司、田中長の奈良漬、生菓子の屋台が並び、豪華な料理と、同志社大学フランサーカル

スタイルの料理に加え、会場に女子大学学長の乾杯のご発声で始まつた。乾杯は清酒「同志社大吟醸」。ホテルビュッフェ

による京都の老舗三嶋亭のローストビーフ、竹茂樓の鰻寿司、田中長の奈良漬、生菓子の屋台が並び、豪華な料理と、同志社大学フランサーカルによるフランダンスを楽しみながらの賑やかで和やかな交流会であつた。

模様だつたが全国の各支部から1200名の校友が集まり盛大に開催された。中には福井支部のようにバスをチャーターして参加した支部もあり、今日は全国もれなく各支部から参加者を集め、東京も「大懇親会」について東京ジャーナル、ホームページでの告知を行い、またチケットの斡旋を行つた。(東京校友会のチケットの斡旋は57枚だつた)

井支部のようにバスをチャーターして参加した支部もあり、今日は全国もれなく各支部から参加者を集め、東京も「大懇親会」について東京ジャーナル、ホームページでの告知を行い、またチケットの斡旋を行つた。(東京校友会のチケットの斡旋は57枚だつた)

第二部はグランドパレスホテル京都に移動し交流会が開催された。水谷理事長の祈祷のあと、村田学長のご祝辞、加賀女子大学学長の乾杯のご発声で始まつた。乾杯は清酒「同志社大吟醸」。ホテルビュッフェスタイルの料理に加え、会場に校友会会員による京都の老舗三嶋亭のローストビーフ、竹茂樓の鰻寿司、田中長の奈良漬、生菓子の屋台が並び、豪華な料理と、同志社大学フランサーカルによるフランダンスを楽しみながらの賑やかで和やかな交流会であつた。

第一部は国立京都国際会館アネックスホールで同志社出身毎日放送アナウンサー西村麻子さんの司会で、井上礼之同志社校友会会长の開会宣言、大

講演会は作家百田尚樹氏の講演が行なわれた。ベストセラーとなつた著書「永遠のゼロ」「海賊とよばれた男」の執筆の背景の話を軸とした講演だつた。太平洋戦争で戦い戦死した300万人の中心は、18歳から20代前半の大正生まれの人々だつた。この世代の人々の犠牲と努力の上に今日我々がいる。

焼け野原になつた戦後が遠くなり死にもの狂いの復興の努力も忘れられてゆく。「忘れてはいけない、こうしたこと次世代に伝えたい」という思いから執筆した」とのことだ。日本人の魂の復活を訴える氏の熱い思いが伝わる素晴らしい講演であった。時にユーモアを交え、笑いを誘いながらも聴衆に深い感銘を与えた。講演後の質問

文責／早田重彦 (昭41年・経)

DHC 通販化粧品・健康食品売上 **No.1**

価値ある品質を追求し続けるDHCは、最大量^{※2}のグルコサミン^{※3}1920mgと軟骨強化成分CBPを世界で初めて配合^{※4}した『パワーグルコサミン』を開発。かつてない働きの関節系サプリを完成させました。これからもDHCは、日本最大級の健康食品企業として、健やかな毎日を応援いたします。

株式会社DHC

〒106-8571 東京都港区南麻布2-7-1 代表取締役会長兼CEO 吉田嘉明(昭和40年 文学部英文科卒)



史上最強の
グルコサミン
世界初 CBPを配合



※1 2014年1月1日 日本流通産業新聞
通販・通販・EC売上高ランクイン
※2 DHC史上 ※3 グルコサミン塩酸塩
※4 関節対策を主とする処方

<http://www.dhc.co.jp>

晩秋の京都・今出川キャンパスに集う



光館に向かう。定刻の10時刻つかり、パ
開会式の行われる同志社女子大学の栄
「志」に因んだ、現役学生自らの「志」
雨上りの午後は、新島襄の熱き
まず大学に入った所で受付を終え、
ら、後輩との再会を求め、母校に思
を馳せて栄光館に続々と集まつた。
前日の「第2回 同志社校友会大懇親
会」に参加した、東京校友会の方々の顔
もあちこちに見られる。

当日は、朝からの生憎の雨にも拘
らず、多くの卒業生が、恩師、同期、先
輩、後輩との再会を求め、母校に思
の様子をレポートとした。

11月9日(日)「同志社創立139周年
リュニオン・同志社大学ホームカミン
グデー2014」が開催されたので、そ
の様子をレポートとした。



壇上から参加者に語りかける村田晃嗣学長

イプオルガンの前奏で開会式は、
厳かに始まった。

■開会式順序

前奏

讃美歌234A (一同)、

聖書朗読と祈禱 (石川キリスト教
文化センター所長)

永眠者記念黙祷 (一同)

合唱 (クローバー俱楽部)

式辞 (大谷総長)

歓迎のことば (村田学長・井上会
長・同窓会会長)

カレッジソング (一同)

頌栄541 (一同)

祝祷 (水谷法人理事長)

後奏

コンテスト、グリーケラブ演奏、応援
団演舞、神学部小原教授による記念講
演など多くの参加者で盛りあがつた。

クラーク記念館、ハリス理化学館
など重要文化財を含むキャンパスツ
ア、裏千家による野点茶会、新島旧
邸見学ツアーや、人力車の会による
キャンパス散策など終日あり、多く
の現役学生ボランティアが活躍した。

■閉会式

夕刻4時に明徳館前でカレッジソ
ングを歌いチアで同志社人の熱い
一日が終わつた。

文責／安井亮 (昭43年・工)



家族葬から社葬・お別れの会まで、
信頼の
葬祭ブランド「公益社」におまかせください。



まずはお電話を。公益社 ご葬儀相談センター(24時間・365日受付)

さよならのこころ

0120-347-556

http://www.koekisha.co.jp

通話料無料・携帯電話可

はりしまさのふ
株式会社 公益社 ネットワーク 東京・横浜・大阪・兵庫・奈良
東証一部上場 燐ホールディングス グループ

はりしまさのふ
株式会社 公益社 ネットワーク 東京・横浜・大阪・兵庫・奈良
東証一部上場 燐ホールディングス グループ

首都圏ネットワーク(自社会館・営業所)

◆東京本社 (港区南青山1-1-1 新青山ビル西館14F)

会館

- 公益社 用賀会館
- 公益社 高円寺会館
- 公益社 明大前会館
- 公益社 仙川会館
- 公益社 田園調布会館
- 公益社 雪谷会館
- 公益社 高輪会館
- 公益社会館 たまプラーザ

営業所

■青山ご葬儀相談室 ■日吉営業所 ■鶴見営業所

※上記を中心にして300ヶ所以上の葬儀場がご利用になれます。

対応地域 首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)
近畿圏(大阪・兵庫・奈良)

おがわよしひで
小川 佳秀 (昭和50年 経済学部卒業)



特別協力会員の集い

魚谷雅彦(株)資生堂社長の講演



特別講座の株式会社資生堂社長 魚谷雅彦氏

平成26年11月18日18時より
同志社大学東京オフィスセミナー室において、恒例の「特別協力会員の集い」が開催されました。特別協力会員50名に加え、大学からは村田学長を始め関係者にご参加いただき、校友会本部ならびに東京支部関係者も含めて総勢68名が集いました。

◆村田晃嗣学長のご挨拶

「新島襄先生脱国150周年の今年、アーモスト大学を訪問し、マーティン学長と両校間のパートナーシップについて意見交換した。同校のジョンソンチャペルには新島襄先生の肖像画が最も重要な場所に永年変わらず掲げてあることに深い感銘を覚えた」とのことでした。

同志社大学は2025年には創立150周年を迎えるが、記念すべき年に向けてのビジョンを現在策定している。校友の皆さんには引き続き母校への支援をお願いする」とのメッセージをいただきました。

◆特別講演「グローバル企業のハイブリッド経営」

今回は(株)資生堂の代表取締役執行役員社長の魚谷雅彦氏(昭和52年文)に特別

講演をしていただきました。同氏は今年6月に(株)資生堂

の社長に就任されました。化粧品業界で老舗企業である同社がそのブランド力の再強化をはかるために73年ぶりに外部から招聘した経営者ということで話題になりました。同氏より現在同社が取り組まれている経営課題も織り交ぜながら、以下のような興味深いお話を聞くことができました。

一・同志社で学んだことが今 の自分を作った。

英文科に在籍中に出会った明石助教授(当時)に生きた英語を学ぶ必要性を教えられたことが、卒業後入社したライオン歯磨(株)で米コロンビア大学院に留学した経験に繋がっている。折しも「ジャパン・アズ・ナンバーワン」という世界的な評価のもとで、戦後の急速な経済成長の原動力となつた日本式経営がもてはやされた

80年代に圧倒的な技術力で世界市場を席巻した日本企業も90年代以降、「失われた20年」という低成長期には新興諸国の成長や欧米IT企業の躍進もあり、ブランド力で後塵を拝する状況になつた。グローバル企業のブランドの金銭的価値を評価する「インターブランド・トップ50」に、日本企業は3社しか入つてない。

三: ハイブリッド経営の勧め

日本企業としてブランド力の再構築は喫緊の課題であるが、そのポイントはハイブリッドである。即ち、①

高い技術力を生かしながら環境の変化に柔軟に対応すること、②雇用の多様性(外国人、女性)を推進すること、

③世界的な視野で考慮すると同時に市場の地域性に適応

すること、④社外機関との文責/並河和之(昭44年・経)



懇親会の会場にて当日参加の女性に囲まれる村田晃嗣学長

訪問校友

植野伸一さん
株式会社アサツー ディ・ケイ
代表取締役社長

昭和51年・商学部卒



「伝える」のその先へ

電通、博報堂に次ぐ広告業界第3位のアサツー ディ・ケイの社長に就任して2年近く。植野さんは、昨年6月にコーポレートロゴを変え、オフィスも話題の虎ノ門ヒルズに移転と、颯爽としたリーダーブルを見せてくれています。そして、従来の広告会社のビジネスモデルに留まらない、大きな変革を目指していると語ります。

消費者をどう動かすか、世界標準のオリジナリティをどう生かすか、植野さんの若々しい動きに注目です。

修学旅行で同志社に好印象を

出身は栃木県の鹿沼市です。世界遺産・日光の近くの町ですが、園芸好きの方には「鹿沼土」の、といったほうが早いかもしれませんね。

北関東と京都とは遠いイメージがありますが、私の高校時代の1970年に大阪万博があつたり、当時はやりのフォーカソングで京都がよく話題になつていて、けつこう関西や京都カルチャーにあこがれ的なものがあつた時期だつたと思います。そこから何か新しい時代が始まりそう、といった感じでしようか。

また、中学・高校の修学旅行が関西方面で、京都御所の北側にある同志社のキャンパスを実際に見て、とてもいい印象を持っています。

1972年に商学部入学したわけですが、まだ当時の学生運動の余波の中での試験がなかつたりといった時代。自由と（笑）勉強よりもアルバイトとサークル活動に力が入る、そんな学生生活でした。

サークルは古美術研究会。それほど歴史や仏像に興味があつたわけではないのですが、運命でしょうか、ここで文学部の文化史専攻の新入生だつた妻と出会います。ですから、結婚した後もずっと同期生気分。会社員になつてから家に遊び来た同僚や部下がびっくりするくらい、いまでも「友達感覚」の夫婦ですよ。

究会。それほど歴史や仏像に興味があつたわけではないのですが、運命でしょうか、ここで文学部の文化史専攻の新入生だつた妻と出会います。ですから、結婚した後もずっと同期生気分。会社員になつてから家に遊び来た同僚や部下がびっくりするくらい、いまでも「友達感覚」の夫婦ですよ。

世界標準のオリジナリティで三回生くらいからマーケティングが面白くなつたり、次第に就職と自分のキャラクター、やりたいことなどを総合的に考えるようになります。そうして調査関係の会社、サービス業なら旅行代理店、あるいは広告業への就職をめざしたのですが、なんと旅行代理店2社と旭通信社（現アサツー ディ・ケイ）の3社の最終面接が同じ日になつてしまつたのです。

人生の分かれ道でした。第一次オイルショックのあとで、厳しい就職事情でしたが、幸い広告代理店の仕事に就くことができました。いい選択

の時代はこれだ、という実感がありました。

マーケティング、コンセプト、そういった言葉が生き始めました。1970年代後半から80年代は広告業界が大きく、いう時代に同伴できたことは幸せだつたと思いますね。

入社以来、ほとんどのキャラクターが国内の営業で、イベン

ト系には関わっていません。その広告営業の仕事で印象に残っているのは、世界レベルの大物スポーツ選手をCMに使つた飲料の案件ですね。

販売実績6位のものをどう上げていくか。そのために予算をどう使うのか。仮に3年で90億という予算ならば一年30億使って、という考え方があります。でも、最初の一年に50億、60億を一気に投入して大物を使うという考え方もある。目的が6位を3位にする。ということなら、目的を達成できればそれでいいではないか。お金の効果的な使い方をそのクライアントの責

任者の方の「判断」から学ばせていただきました。それは、

「判断」というより「決断」というべきかもしれません。

「判断」というより「決断」というべきかもしれません。

「判断」というより「決断」というべきかもしれません。

「判断」というより「決断」というべきかもしれません。

「判断」というより「決断」というべきかもしれません。

「判断」というより「決断」というべきかもしれません。

右肩上がりの時代、広告代理店の社員は朝から深夜までガンガン働いてどんどん仕事をとつてくるという働き方でした。そして新聞、テレビ、雑誌、ラジオの4媒体との仕事をメインでした。でも、今はSNSから口コミまで含め、で

幸せだつたと思いますね。

N Sから口コミまで含め、で幸せだつたと思いますね。

入社以来、ほとんどのキャラクターが国内の営業で、イベン

ト系には関わっていません。その広告営業の仕事で印象に残っているのは、世界レベルの大物スポーツ選手をCMに使つた飲料の案件ですね。

販売実績6位のものをどう上げていくか。そのために予算をどう使うのか。仮に3年で90億という予算ならば一年30億使って、という考え方があります。でも、最初の一年に50億、60億を一気に投入して大物を使うという考え方もある。目的が6位を3位にする。ということなら、目的を達成できればそれでいいではないか。お金の効果的な使い方をそのクライアントの責

任者の方の「判断」から学ばせていただきました。それは、

稻盛和夫さんの言葉「動機善なりや、私心なかりしかが座右の銘。高く、広い視点を持つて進みたいと思います。

文責／谷村和典（昭47年・文）

連続企画 片桐家同志社五代記（十二）

連載コラム 今出川四季

片桐会で岩村信二は「良き牧羊者 片桐清治」という演題で記念講演をしている。

その内容は例の「ドーシテルノ」に詳しく記されているが、概略をお話ししたい。

先ず集まつた親族に向かつて「皆さん、片桐清治の子孫で有るということで一つであります」と話し始めた。ただ分類の仕方で二種類ある。

「二つは直系、血のつながつた子孫、残りの半分はそれと結婚した配偶者の関連。その二つが片桐会をつくっているのです。私は直系・血縁牧師をやり通した。そういう意味で片桐は非常に偉い牧師である」。その背景には、どうも新島襄先生の指図があつたと思うといつていて。

皆さんも、同志社を創つた結婚の折りの運命的なものについては、前号で述べたのでここでは省略したい。

片桐清治の人となりについて話され、水沢出身の4秀才、後藤新平、斎藤実、山崎為徳そして、4人目に片桐清治が居

る。結婚を控えたあるとき「片桐先生は偉い、偉いとよく言うけれど何をした人なのか」と父清四郎に聞くと、「偉いと

いうことの中には二つの意味がある。一つは大臣だとか学者とか博士といった俗っぽい意味で偉い人が沢山いる。と

とてずっとその教会を守つた。これが我々の世界では一番偉い。一つの檀那寺の和尚さんのように、一つの教会の牧師をやり通した。そういう意味で片桐は非常に偉い牧師である」。その背景には、どう

も新島襄先生の指図があつたと思うといつていて。

の寮に入り、毎日工員と同様

に仕事をするようになります。

した。授業は先生が来られ、全

員講義を一日したのみで終わ

り、勉強はなくなりました。

20年になり、もう学生は女

子がほとんどで、男子は10人

ぐらいしか残つていませんで

した。よつて勤労奉仕もなく

なり女子だけの学校のようになつてしましました。

岩村信二の話しあはう少し

續くのだが、残りは次号で述べたい。

桐先生は偉い、偉いとよく言うけれど何をした人なのか」と父清四郎に聞くと、「偉いと

当時、組合教会、日本キリスト教会、メソジスト教会といった教派が始まりました。明治19年に日本組合教会が組織されました。組合教会は新島先生が采配をふるつて同志社の卒業生を日本の各地の重要な都市に派遣したのです。

山崎為徳が新島旧邸で病床についていた折り、片桐清治に世話をさせたが、その時の看病の姿を観て、新島先生の心の中に清治という人は牧師の中の牧師だと感じさせたようです。水沢の教会から東華学校の幹事として呼び寄せるのですが、清治は実直、情篤く多くの人に愛された本当に牧師らしい牧師、そういう意味で偉いですね。

岩村信二の話しあはう少し續くのだが、残りは次号で述べたい。

二学期に入つて戦時体制になりました。勤労奉仕で大阪の工場なり、勤労奉仕で大阪の工場

に転出したり、応召されたりする人があり、戦時色がだんだん

と強まつて来ましたが、一応授業は予定通りありました。

授業料を支払えば卒業できました。授業を受けたものではなく、

誠に頼りない卒業生です。

文責／片桐 陽（昭42年・工）

【東京新島研究会】新島先生の足跡を訪ねて仙台へ

新島襄が教育と伝道の拠点に選んだ仙台へ研修旅行に
10月22～23日、22人が参加した。

■東華学校遺址碑

日本たばこ産業仙台支店玄関前に建つ石碑。碑文は徳富蘇峰の撰で、仙台市民と同志社の協力による開校の経緯が刻まれている。明治19年に開校した東華学校は、キリスト教に対する世論の変化のために閉校、5年余の命であった。

■「同志社分校」のいま

実質的に同志社の分校として発足した東華学校は、明治25年閉校に。その精神はいま、宮城県仙台二華中学・高校に受け継がれている。県立の男女共学中・高一貫教育校である。しかし、学校による校史説明やパネル展、ビデオに新島襄が随所に登場し、同志社の分校？の印象が強い。



仙台北教会前で記念撮影

日本一ネットに記録登録されている「同志社東京27会」は、今年10月で435回を記録しました。

会長は（昭27・工）卒の長田寛さんで、現在昭27年卒13名、昭28年以降卒14名で毎月27日にがんこ銀座一丁目店で昼食を楽しんでいます。

これまで万年幹事で当会の発展に尽力された大平哲さん（昭27・文）、長年毎月参加された斎藤恭子さん（昭28・商）が昨年相次いで亡くなられ淋しくなりましたが、皆八代ながら、百歳長寿を目指して頑張っています。

文責／藤田和哉（昭28年・経）



同志社東京27会

同志社開催回数で日本一

同志社東京41会

秋季ゴルフコンペ

同志社東京43会

第一回山登りの会

11月14日（金）第17回秋季ゴル

フコンペが「新千葉カントリー」

俱楽部つくるもコース」で14名が参加し開催されました。天気は絶好の秋晴れ、紅葉を愛でながらの楽しい一日でした。

戦績については大波乱があり、前回の優勝者（村上毅）がブービー受賞者となり、前回のブービー（村上正幸）が優勝する、という珍事が起きました。

反省会では、プレーに夢中のあまり紅葉を十分に楽しめなかつたなどの声もありました。が、同じ大学出身という気の抜けない仲間で人生の秋、このようないい機会が持てることうな楽しい機会が持てるこ

を幸せに思つた次第です。

文責／村上正幸（昭41年・経）



9月18日、絶好の天候に恵まれ、43年次の有志6名が集まり、高尾山ハイキングを行いました。道中、和気あいあいと談笑しながらの登山は大変楽しく、充実した時間を過ごす事が出来ました。下山後、ビールがいつも増して美味しく、このために登山をしたような感もありました。

全員の総意として、これを機会に今後もこの会を続けて行く事となり、次回は来春大山詣を楽しむこととなりました。年次を問わず興味の有る方は、幹事の小林繁蔵まで連絡をお願いします。

sh005298@ac.auone-net.jp

文責／吉川進（昭43年・工）



■仙台北教会は新島襄の遺産
仙台北教会の設立母体は、東華学校である。学校関係者が中心になつて明治20年に教會設立。学校閉鎖後も、デフオ

文責／木村ケイ（昭29年・文）
礼拝堂壁面の額「私は生命の揮毫。彼は新島襄の薰陶を受けて、志を継いで、東北伝道に生涯を捧げた。「東華学校に蒔かれた種子は、仙台北教会に生き続ける」と同志社大

同志社 スポーツ

関東同志社スボーツ ユニオン総会開催!

本年で第11回目を迎えた
関東同志社スポーツユニオ
ン総会が、千代田区学士会
館に於いて10月5日開催さ
れました。

2014年同志社スポーツは、球技を中心に行シズン終盤を終えました。傾向として団体競技が振るわない中、空手、日本拳法、レスリング、卓球などが成績をあげてきました。

関西大学リーグで3位となつたラグビー部。この記事が出る頃には勝敗が決定していますが、今後更に旋風を巻き起こしてくれると信じますので、校友の皆様に於かれましては応援をよろしくお願い申し上げます。



元日本代表ゴールキーパー小島伸幸氏との記念撮影

の後は懇親会となりました
が、冒頭に、同志社東京校友会の児玉会長から全国大会に上京してくる各クラブ会員への支援金として金一封の提供があり、関東同志社スポーツユニオン村口代表が代理で受領しました。
ご支援いただきることは各クラブ学生にとつて大変励みになりありがたく、益々

アナウンサーの大森有里子さんが登壇してパネルディスカッションを行いました。時期がワールドカップやアジア大会直後だったこともあり、最初は日本のサッ

声をかけたのがきつかけ)
ご家庭では食事の点で少し
違和感があつたとか。大森
さん会話の妙で思わぬエピ
ソードまでたくさん語つて
いただきました。

小島氏は高校まで群馬県（新島学園高校ご出身）で生活されていましたこともあり、京都にやってきた当初、たぬきうどんが通じないことに衝撃を受けたそうです。奥様は関西ご出身のため（同志社大学サッカー部の試合を観戦に来ていたところに、

2014年

同志社ス。ポート 総括

各大学とも球技関係が強化され、強豪がひしめき順位を上げ難い傾向にある中で、バスケットボール部関西2位、卓球部女子の全国3位

テニス部、ソフトテニス部の健闘が光りました。観客が応援し易い、野球

文責／八木克明（昭62年・文）

も今後の東京ジャーナルで紹介させていただきます。

A dynamic shot of a rugby player in a blue and white striped jersey running with the ball, being tackled by a player in a red and black striped jersey. Other players are visible in the background.

星稲田を追いつめたが一歩届かず、突進する”田淵組”

競技にも打ち込めることが
存じます。この場をお借り
して厚く御礼申し上げます。
京ジャーナルで今後レポートをさせていただきますのでご期待ください。

京ジャーナルで今後レポートをさせていただきますのでご期待ください。

東京オフィスの産官学連携オフィスが始動します！

スペシャルインタビュー／副学長：渡辺好章



渡辺好章副学長

産官学連携は2004年から田町のキャンパスイノベーションセンター東京を拠点に活動していたが2012年に閉室。7月から東京オフィスで活動が再開された。担当副学長の渡辺教授は狙いをこう語る。

「企業、会社との連携を強化するには、東京に拠点を持ち人を置かなければ成果はありません。当たり前のことで。きめ細かい日常の活動の積み重ねが必要で、それらはやはり京都からだけでは無理。私見ですが、同志社大学は現状に安住していると感じることが多々あるので、言

同志社大学の東京における産官学連携は2004年から田町のキャンパスイノベーションセンター東京を拠点に活動していたが2012年に閉室。7月から東京オフィスで活動が再開された。担当副学長の渡辺教授は狙いをこう語る。

渡辺副学長は生命医科学部の教授でもあり、東京オフィスからT.V.会議システムでの講義にもチャレンジされた。

「私の場合は、スケジュールの関係でやむなくの対応だったのですが、ICTを活用し東京在住の著名講師と京都をつなげば在校生にもメリットが発生する。こういった観点でも東京オフィスは活用したいですね」

3月には産官学連携東京オフィス初のイベント実施が決まっている。

「メーカーと同志社大学の研究者がフリーディスカッションを行うもので、ビジネス研究科特別客員教授の森下先生

東京オフィスでは「産官学連携オフィス」が7月1日から活動を始めている。

葉は悪いが「引きこもり体质」を変えたい。これまでも問題意識がなかつたわけではないけれど、具体的な一步の踏み出しができていなかつた。産

学連携オフィスでのイベントは、教員が外から刺激を受けける機会でもあり、研究プラットフォームのきつかけとなることも期待しています」

渡辺副学長は生命医科学部の教授でもあり、東京オフィスからT.V.会議システムでの講義にもチャレンジされた。

「私の場合は、スケジュールの関係でやむなくの対応だったのですが、ICTを活用し東京在住の著名講師と京都をつなげば在校生にもメリットが発生する。こういった観点でも東京オフィスは活用したいですね」

3月には産官学連携東京オフィス初のイベント実施が決まっている。

「メーカーと同志社大学の研究者がフリーディスカッションを行うもので、ビジネス研究科特別客員教授の森下先生

●お問合せ…同志社大学東京
産官学連携オフィス
電話 03-5579-9587
文責／安永昌代（昭56年・経）

◆同志社大学新ビジネスフォーラム◆
キックオフ・シンポジウム ご案内

日時:2015年3月10日(火)18:30～
会場:東京オフィス・セミナー室
プログラム(予定)
挨拶・趣旨説明:渡辺 好章副学長・研究開発推進機構長
基調講演:森下 俊三 ビジネス研究科特別客員教授
講演(シーズ発表):三木 光範理工学部教授「知的照明によるオフィス改革(仮)」、飛龍志津子生命医科学部准教授「生物に学ぶセンシング技術—コウモリの超音波利用の実態—」

長の森下俊三先生（元NTT西日本社長）の豊富な知見、人脈をこの企画にご提供いただく予定です」

企業とのマッチングを狙うだけなく本学の活動すべての底流にある「同志社精神」を新島のストーリーや「良心教育」の観点からお伝えする時間を持ります。まず「同志社」を知つていただくことが重要です。人材育成の観点でも共感・支持をいただけるようプログラムを考えています。座

長の森下俊三先生（元NTT西日本社長）の豊富な知見、人脈をこの企画にご提供いた

だく予定です」

世界中でつくります。なかつた空気。できなかつた空気。

国が違えば、暮らしが違えば、欲しい空気も違はず。
ダイキンは最新の空調技術で、その全てに応えたい。



ダイキン工業株式会社

グローバル社会へ躍進する！

新年あけましておめでとうございます。

さて、『春の集い』は、本年で17回目を迎えます。すでにご報告させていただいておりますように、昭和46年卒・56卒及び平成3年卒のグループが委員会を構成して推進させていただきます。今年のテーマは『同志社オンマイマインド』にいたしました。皆さんの青春と人格形成の場であり、何よりも多くの学友と巡りあえた「同志社」に、感謝の気持ちを持つて回帰したいと考えております。



2014年春の集いの開会式

長から「同志社のいま」についてご報告いただき、続いて

文学界で活躍するお一人のゲストをお招きして、活動の礎になつた「同志社」で、いかに過ごし、いかに人格形成されたかなどを、それぞれ熱く語つていただきます。

毎年ご参加の方はもちろん、新しく参加される方も一緒に、それぞれの人生の原点になつた時代を語りませんか。そして今年もまた、集い来る友と、「同志社」に思いを馳せる日にしませんか。

そこで、新しい年の初めに毎年ご参加の皆さんもとより、初めてご参加いただく皆さんにお願いがあります。

この機会にぜひ、年次会・サークル活動の友人・ゼミの友人などを通じて、先輩・後輩にお声掛けしていただき、さらに強い絆で「同志社」に集い「同志社」を語ろうでは

ありませんか。ご協力よろしくお願ひします。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

【プログラム】

◇第一部

（クローバークラブ有志）

カレッジソング
開会祈祷
讃美歌者唱

開会宣言
会長あいさつ
来賓あいさつ
同志社大学歌

（クローバークラブ有志）
◇第二部 講演会
同志社大学 村田晃嗣学長
【特別講演】
「トーケンショー」
有栖川有栖氏と中村うさぎ氏



2014年の懇談会。旧友達との再会に会話がはずみます

『春の集い』は例年500

名強の校友にお集まりいただいているますが、残念ながら参加が少ないのが実態です。

今年度の『春の集い』では直近3年間にご卒業の皆様は、特別対応で、参加費を通常の半額（4千円）にさせていただきます。

ぜひこの機会に、ご友人をお誘いいただいて一人でも多くの皆様にご参加いただけるようお待ちしております。

文責／横山徹（昭46年・工）

◇第三部

同志社大学アンサンブル
室内楽の夕べ

*実施内容は、一部変更する場合があります。予めご承知おきください。詳細は、別途『春の集い』案内状、又は東京校友会ホームページ

でご覧いただけます。

【日時】
2015年5月24日(日)
開場12時
13時～17時30分
【場所】
ロイヤルパークホテル
東京都中央区日本橋牡蠣殻町
2-2-1

http://Doshisha-tokyo-alumni.jp

○平成25年・26年・27年ご卒
業の皆様へ
4番出口直結
東京メトロ半蔵門線水天宮駅
03-3667-1111



鏡割り（2014年開催時）

校友会活動告知

[告知セミナー]

203号室
[午餐会会費]議員会
[日時]3200円（当日徴収）
までに事務局までご連絡下さい。

■新島襄生誕の地碑前祭・記念講演会・午餐会ご案内

恒例の新島先生生誕の地・碑前祭が、学校法人同志社の主催にて、左記の通り執り行われます。それに引き続き、東京校友会並びに同窓会東京支部との共催による「記念講演会」と「午餐会」を企画しましたのでご案内します。

【日時】

2015年2月12日(木)11時15分

【碑前祭】

2015年2月12日(木)

【記念講演会】

2015年2月12日(木)11時15分

【講師】
(元同志社大学 神学部教授)「江戸つ子・新島襄の夢」
神田に錦を飾る【場所】
「碑前祭」新島襄生誕碑前
東京・神田一ツ橋学士会館【場所】
「記念講演会」学士会館2階
201号室

弘川寺の西行しのぶ すみれ亭 昭和38年会俳句会

久々に弘川寺を訪れた。かつて北面の武士であつた若き西行佐藤義清はある日思うところあつて幼い娘を縁先に蹴飛ばして家を捨てる。以来、歌に命を託して全国漂白の旅に出た。

「ねがはくは花の下にて春死なむ
そのきさらぎの望月のころ」(西行法師)
河童氏も今富田林の名刹で大歌人の遺徳を偲んでいるのだ。

(評・あかぎ倦鳥)

編集後記



2015年が始まりました。昨年のトピックスは、何と言つても同志社大学東京オフィスの移転です。

開催のお知らせ

【日時】
2015年3月8日(日)
午後12時～14時【場所】
同志社大学 東京オフィス
セミナールーム【午餐会会費】
3200円（当日徴収）
までに事務局までご連絡下さい。【日時】
2015年2月26日(木)18時～
までに事務局までご連絡下さい。【場所】
青山ダイヤモンドホール【議題】
(報告事項)
①2014年度活動報告
②会計報告
③会計監査報告
④その他【議題】
(審議事項)
①第1号議案 2015年活動計画案
②第2号議案 収支予算案
③その他【議題】
(審議事項)
①第1号議案 2015年活動計画案
②第2号議案 収支予算案
③その他

2015年が始まりました。昨年のトピックスは、何と言つても同志社大学東京オフィスの移転です。

【同志社東京38会13回総会】

【日時】
2015年3月8日(日)
午後12時～14時【場所】
東京オフィスについて、は、東京オフィスにオフィスを、度かお知らせ致しましたが、これからもこのオフィスを、に同志社大学の東京でのプレゼンスを高める活動を、我々校友も積極的に進め、行きたいと思っています。

さて、98号も内容は盛り沢山で、16P建てにしました。昨年は校友会の大懇親会も二回開催され、全国規模の校友会活動が活性化しています。思っています。

今年も、更なる発展に向け、東京校友会でも積極的に活動をしていきたいと思います。

今後とも校友の皆様のご協力を賜りますよう、紙面を借りてお願いする次第です。

どうぞ、宜しくお願ひします。

文責／片桐 陽（昭42年・工）